



<経営理念>

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとり対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

5月迄業績	計画	実績	差異	%	昨年比	%	12月迄成り行き	昨年度実績
売上	177,573	174,277	-3,296	98.1%	15,538	109.8%	431,177 万円	403,780 万円
営業利益	6,178	11,354	5,176	183.8	5,397	190.6	23,534(5.46%)	15,463(3.83%)

<5月度は売上やや回復も計画未達/営業利益はほぼ計画通り確保>

6月も既に後半となり梅雨の中休みでは暑さが厳しい日が続いております。最近では「ヘルパンギーナ」という子どもの夏風邪が全国的に流行しており、船橋市では6月23日に警報が発令されたようです。手洗い等の基本的な感染予防を今後も努めていただくようお願いいたします。

さて、5月の売上は4月に比べやや上向いたものの、缶パーツ・EOEともに計画未達となりました。それでも営業利益はほぼ計画通りの1,161万円を確保することができ、鋼材価格高騰分をしっかりと価格転嫁でき収益構造を改善できた手応えが感じられます。

工場では年明け以降、東西で社内クレームが5か月連続ゼロとなっています。無駄な支出を出さない大きな成果に繋がっており、頼もしい限りです。

【全社品質目標の達成状況】

安全第一 労災事故0件：5月末で千葉166日、大阪112日、
労災事故ゼロ継続中。

品質クレーム：5月度 千葉1件(社外1件)、大阪はゼロ。
EOEのクレーム歯止めに注力が必要となっています。

納期遅れ：なし

コストダウン：5月度計画433万円 ⇒ 実績785万円
(97%・累計132%)

新規品売上：5月度 東営 計画618万円 ⇒ 実績452万円
(73%・累計84%)

大営 計画143万円 ⇒ 実績79万円
(55%・累計93%)

稼働率：5月度 千工 目標81% ⇒ 81.5%(通年81.8%)
大工 目標79% ⇒ 82.8%(通年81.6%)

両工場とも好調です！

5月単月 (単位:万円)	売上		営業利益		営業利益累計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
東京営業所	22,090	20,466	797	670	5,273	7,204
千葉工場	19,856	19,683	498	296	355	380
大阪営業所	12,107	12,253	111	283	1,610	3,364
大阪工場	9,948	10,263	-267	-88	-1,059	406
全社	34,197	32,719	1,139	1,161	6,179	11,354

<パートナーシップ構築宣言をしました/サプライチェーンとの共存共栄を>

このたび、ヒロハマは「パートナーシップ構築宣言」をしました。パートナーシップ構築宣言とは、企業規模の大小に関わらず、企業が「発注者」の立場で自社の取引方針を宣言する取組みです。企業は代表者の名前で、「サプライチェーン全体の共存共栄」を重点的に取組むことを宣言します。当社も今月宣言し、公式ポータルサイトに掲載・公表されました。経営基本方針にも掲げているSDGsへの対応強化や、各種助成金採択への強みにも繋がります。

又、創業者である廣瀨重治さんの重んじていた取引先との「和」の精神にもつながる取組みと思います。

今後、このように社内外への周知を進めるとともに、必要に応じて意識改革にも取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。

6/26 廣瀨 庄一郎



<人を生かす経営>(11)

【2】相互尊重(4)

(2)他者を決して貶めない(2)

SNSでの誹謗中傷

あまり犯罪者として検挙されることは多くはありませんが、その罪はきわめて大きいと感じることがあります。それは、世の中にはびこるSNSでの誹謗中傷。まさに「他者を貶める」典型例ではないでしょうか？

本人は正しいことを言っている。正義感に駆られて発信しているつもりなので、始末に負えません。しかし、誹謗中傷された方の心の傷は、一生消えないほど深いものになっていたりしますし、時として、自ら命を絶つ人も出てくることもあります

そこまでの誹謗中傷ではなくとも、周りの人を批判する場合は、結果としてその人を貶めることになるかどうかをよく考える必要があります。間違った行為についての指摘は必要ですが、「何をやってもダメだな」「性格悪いよね」「頭、悪いんじゃない？」というような、人格を否定する表現は決してしてはなりません。

共に育つ仲間

とはいうものの、私たちは共に成長を目指していますので、お互い

を励ますという働きかけも必要です。

中小企業家同友会で一緒に学んでいる北海道のアイワードという印刷会社でのお話が印象的でした。

小児まひの後遺症で足の悪い女性がいました。「障害があっても、ちゃんと出勤してきます」ということで、働いてもらっていたのですが、大雪が降ると必ず遅れてくる。それは無理のない事情もあって、足が悪いためにそれこそ言うようにして出勤してくるので、どうしても遅れるわけです。

しかし、そうしたことが何回かあった時、当時の社長はその女性を呼んで厳しく叱りました。「約束が違うじゃないか」とまで言ったそうです。「事情は分かる。だけどもっと早く家を出れば間に合うじゃないか。障害があることを理由にして、遅れていいことにはならない」ということです。

可哀そうに、ひどいじゃないか、と思うかもしれないけど、「脚が悪いんだからしょうがない。」と自分を正当化するような形で、自分で自分を貶めてはならない、ということでした。

人を責めてはならない、といっても「何も言わなくてもいい」という訳ではありません。お互いに高みをめざす仲間としての励まし合いもまた、大切にしていきたいものです。 6/26 廣瀨 泰久